

生まれて
62年

憲法をまもり

核も戦争もない

平和な世界をつくります。

侵略戦争をやめる。広島・長崎の悲劇を繰り返さない——憲法9条は、この痛切な反省の上に生まれました。憲法が施行されて今年で62年。その掲げた精神が、世界の大きな流れとなっています。

いまこそ、地球上から核兵器をなくし、憲法9条をまもり生かすときです。



憲法をこわす動きには反対です。

「海賊対処」として自衛隊を海外に送る。「集団的自衛権」が行使できるように憲法解釈を見直し、あわよくば9条そのものを改悪する——私たちは、世界と時代の流れに逆らう動きに反対です。

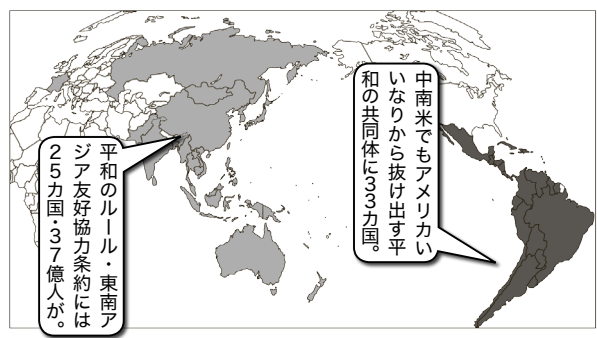
いまこそ
日本共産党

いま憲法9条が生きる時代——

世界は変わりはじめました。

世界にひろがる平和の共同体

戦争のない世界へ



「紛争の平和的解決」「武力行使の禁止」を掲げた平和の共同体が、アジアや中南米に広がっています。いま憲法9条の精神が、世界で輝きを増しています。

核兵器をなくそう



オバマ^{大統領}核廃絶演説。志位氏と手紙

「核兵器を使用したことがある唯一の国として、米国には道義的な責任がある」——オバマ米大統領が公式に核兵器の廃絶を表明。

志位和夫委員長は、オバマ氏にたいし、核廃絶の国際条約を結ぶための積極的な役割を求め、書簡を送りました。これにたいし、米国政府から「この問題にたいするあなたの情熱をうれしく思う」とする返書が寄せられました。

JCP
京都

日本共産党

発行：日本共産党京都府委員会
2009年5月21日号
〒604-0092 京都市中京区丸太町新
町角大炊町186 電話 075(211)5371

日本共産党京都府委員会は以上の見解を發表しました。

くわしくは裏面をご覧ください。



核兵器のない世界へ 日本共産党と米政府で書簡

「核のない世界を」 オバマ米大統領が演説

オバマ米大統領は4月5日、プラハで演説し、「米国は核兵器のない、平和で安全な世界を追求していくことを明確に宣言する」とのべ、核兵器の最大の保有国のアメリカが、核兵器廃絶を国家目標とすることを初めて約束しました。



国際交渉の開始へ 志位氏が歓迎の手紙

オバマ演説をうけ、日本共産党の志位和夫委員長は4月28日、オバマ大統領にたいし、「心から歓迎する」とともに、核兵器廃絶のための国際条約の締結をめざす国際交渉の開始のために、積極的な役割を果たすよう求め書簡を送りました。



「核廃絶の情熱うれしい」 米政府から返書

志位氏の書簡にたいし、米国政府から、「この問題に対するあなたの情熱をうれしく思う」「思慮に富んだあなたの書簡に重ねてお礼を申し上げる」とする返書が寄せられました。



自民 民主 核廃絶の流れに逆行

核抑止力、にしがみついた日本政府
アメリカを含め世界が核兵器廃絶に大きく踏み出すなか、被爆国の日本政府は、いまだに「核抑止が重要」(中曽根外相)などと逆行しています。

核の傘、に固執する民主・前原氏
「米国による核抑止は日米同盟の根幹を成すものなので、取り扱いを間違うと、同盟そのものを揺るがす」(前原誠司衆院議員の公式HP)と 核の傘、に固執。

日本共産党伸ばし憲法生かす政治を

比例代表

日本共産党

小選挙区



【1区】
こくた恵二



【2区】
原としふみ



【3区】
石村かず子



【4区】
吉田幸一



【5区】
吉田さゆみ



【6区】
浜田よしゆき



衆議院選挙の投票の仕方
制度解説 衆議院選挙の投票方法を紹介します。